

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	医療機器に係る安全管理の促進事業			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	経済課	課長：三浦 明	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	医療安全対策に関する行政評価・監視結果に基づく勧告(平成25年8月)		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年8月、「医療安全対策に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」の内容(特定機能病院以外の医療機関においても、特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器について、各医療機器の設置状況や使用頻度等を考慮した上で、定期的な研修を行うよう措置すること)を実行することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療機関等の職員の個々の能力の向上とともに、医療現場における医療機器の安全性をより高めるための知識の習得及び普及を図ること等を目的に、特定機能病院以外の医療機関(特に、中小規模の医療機関)のスタッフを対象に、講師として医政局職員を全国8カ所に派遣し、安全管理が強く求められる医療機器(人工呼吸器及び呼吸モニタ、輸液ポンプ等)に関して、全国8カ所(地方厚生(支)局所在地等)において年1回程度の研修を実施する。						
実施方法	直接実施						
予算額・執行額(単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	2	2	2
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	0	0	2	2	2
	執行額	-	-	1.3	-	-	
	執行率(%)	-	-	65%	-	-	
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	65%	-	-		
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	医薬品審査等業務庁費	1.7	1.7	-			
	職員旅費	0.3	0.3	-			
				-			
				-			
	計	2	2	-			

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	医療機器の安全性を高める知識の習得等につとめる。	研修受講者数	成果実績	人	-	-	1,684	-	-	
			目標値	人	-	-	1,600	-	1,600	
			達成度	%	-	-	105.3	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	公益財団法人 医療機器センター医療研修部									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	研修会への派遣回数	活動実績	回	-	-	8	-	-		
		当初見込み	回	-	-	8	9	9		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X / Y		単位当たり コスト	百万円	-	-	0.3	0.2		
	X: 予算執行額 Y: 研修会への派遣回数		計算式	X/Y	-	-	2/8	2/9		
政策評価、経済・ 財政再生アクション・ プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること							
		施策	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標 I - 8 - 1)							
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
				実績値	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	安全管理が強く求められる医療機器に関して、医療機関の職員等を対象に研修を実施し、個々の職員の能力の向上とともに、医療現場における医療機器の安全性をより高めるための知識の習得及び普及を図ることなどにより、革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興に寄与するものである。									
	改革項目	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	-	
達成度				%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
	目標値		-	-	-	-	-	-		
	達成度		%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療機器の安全管理の質をより高めるための知識の習得及び普及を図り、医療安全に資することは、国民や社会のニーズを反映した事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「医療安全対策に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」に対応するための事業であり、厚生労働省が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療機器の安全管理の質を向上させる取組は、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	開催回数や会場に応じて、必要最低限な経費のみを算定しており、コストの水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途については真に必要なものに限定して計上している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	研修会の開催コスト等を低く抑えるよう努めた結果であり、妥当である。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標へ向けて見合った成果実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに見合った活動実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名
			-
点検・改善結果	点検結果	平成28年度においては、設定した目標値どおりの活動実績となった。医療機器に係る安全管理の促進を図るため、今後も着実に事業を遂行していく。	
	改善の方向性	本事業については、医療機器に係る安全管理の促進に必要な事業である。適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。	
外部有識者の所見			
事業の目的は理解するが、本研修が医療機器の安全性を高める知識の習得等に資する内容となっているか事業の有効性を検証しつつ執行すること。そのため、成果目標(アウトカム)については、研修会への職員の派遣回数ではなく、研修受講者数や知識習得、安全性向上にかかる別の指標を設定し把握すべきではないか。(栗原 美津枝)			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一部の改善内容	外部有識者の所見を踏まえ、事業の有効性を検証しつつ、執行な執行に努めること。また、成果目標についても見直しを検討すること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	ご指摘を踏まえて、事業の有効性を把握するために、成果指標を研修受講者数として、成果目標の見直しを実施した。引き続き、適切な執行に努めて参りたい。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-013	
平成28年度	新28-010					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



